

隠さず都民に

情報公開

嘘が許される都政はおしまい。議論をオープンにします。ネットメディアやフリーランス記者を排除しない都政報道にします。

対話とパブコメ

利権より都民自治

審議会や検討会に都民が参加する仕組みを作ります。天下りは禁止、民間の公正な競争を阻害する外郭団体は整理します。

都の予算17兆円のただししい使い道 都民と決める

東京都自治基本条例をつくる
東京都の教育長を準公選制にする
都民の環境権を守るため樹冠率30%条例、PFAS調査条例、オーガニック給食条例をつくる

ダイアログカフェ条例をつくる（デジタルに弱い人でも気軽に参加できる対話キオスクを街角に設置し、多様な世代が参加できる討論会をする）

都のケア介護環境改善条例をつくる
都民米を作付ける農家を補償する
原発の是非を問う対話のテーブルを開く
憲法裁判所・情報公開裁判所・環境裁判所を設置する
取り調べにおける弁護士立ち会い条例をつくる

大学を無償化する
都の地方消費税分をゼロにして身を切る改革を進める（2.2%）
（つづく）



都政をひらいて、真実を伝える。 それが私たち世代の責任

広告代理店の雇用機会均等法一期生として、総合職初ワーキングマザーとして働いたのち起業した環境広告サステナのマエキタ(61)です。社会のための広告を作ってきました。子育てキャリアも環境保全も、政治を避けては通れません。去年の都議補選では、国民主権を守るため、小池都知事の経歴詐称を刑事告発した小島敏郎さんに続けと、若い人を擁立しようとした。わかったのは若い人の政治嫌い。嘘つきでズルくて、お金に汚なく、悪口と隠し事と大金が渦巻く政治が嫌で、投票に気乗りしない、まっとうな人たち。これでは民主主義の危機です。東京都は重症です。なんとか私たち世代で、まず政治から嘘をなくそう。投票する気が湧く、気持ちのいい政治にしよう。若い人にやってもらう前に自分がまずやろう。隠し事のないスッキリした民主主義にしてから若い人に渡そう。民主主義をあきらめないため、バトンを渡すため立候補します。どうか投票、どうかご支援、お願いします。

推薦

元環境省地球環境審議官・元都民ファーストの会事務総長・弁護士
小島敏郎

「政治は信用できない」と投票に行かない人が増えてます。政党の支援もなく、後に続く普通の人たちの先駆けになろうと小池知事の妹がいる中野区で挑戦するマエキタさんの勇気を応援します。

【プロフィール】1963年東京生まれ。慶應義塾大学経済学部卒。元電通社員。元慶應義塾大学非常勤講師。環境広告(株)サステナ代表、クリエイティブディレクター、2児の母。デモクラTVの企画運営に携わる。



→ つづき・お問い合わせ・こちら

<https://maekita.jp>

無所属

マエキタ
ミヤコ

